

セグメント別営業概況

その他部門



機械・設備
システム

主力事業：冷熱事業（空調機、大型冷凍機、カーエアコン、輸送用冷凍機）
工作機械事業（歯車機械・大形機、精密切削工具）

基本戦略

冷熱事業

- 「軽量/軽快」な事業体質の実現
- 「ニッチ断トツ」な事業展開

工作機械事業

- 収益の柱となる事業のさらなる強化
- 新成長事業の拡大
- 加工技術力の強化

今後の見通しと目標



2012年度の概況と2013年度の見通し

冷熱

東南アジアでルームエアコンの受注が増加したものの、市況が低調な欧州を中心にルームエアコンやパッケージエアコンの受注が減少したほか、国内でも、主要顧客の国内生産が減少したことにより、カーエアコンの受注が減少しました。その結果、連結受注高は1,441億円、連結売上高は1,487億円、営業利益は3億円となり、いずれも前年度を下回りました。

2013年度は、主に空調機、カーエアコンの海外事業を拡大することで、連結受注高1,600億円、連結売上高1,600億円、営業利益20億円と増収増益を見込んでいます。

工作機械

中国をはじめとするアジア市場での競争激化に加え、国内の設備投資意欲の減退により、受注が減少した結果、連結受注高は前年度を下回る442億円となりました。連結売上高は歯車

機械を中心に増加し、前年度を上回る522億円となりましたが、営業利益は競争激化の影響などにより、前年度を下回る25億円となりました。

2013年度は、連結受注高500億円、連結売上高500億円、営業利益30億円を計画しています。

中長期の成長に向けた取り組み

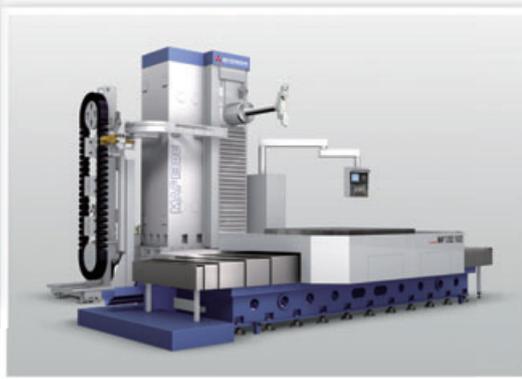
冷熱

当社エネルギー・環境ビジネスの一翼を担い、地球環境に貢献できる冷熱メーカーを目指します。空調事業では、パッケージエアコンの海外生産移管を2012年度に完遂するとともに、タイの合弁会社MACO社と当社海外拠点との直接取引へ移行しました。カーエアコン事業では2011年10月に設立した海外第3番目のタイの生産拠点を本格稼働させ、海外生産を拡大していることに加え、2013年1月より当社100%出資のカーエア



▲ インバータ搭載ターボ冷凍機「ETI」シリーズ

▼ テーブル型横中ぐりフライス盤「MAF-Eシリーズ」



▲ 冷暖フリーマルチエアコン室外機

冷熱事業本部長
有原 正彦



工作機械事業本部長
樹神 幸夫



SWOT分析表

<p>□ (冷熱・工作機械) 豊富な製品ラインナップ</p> <p>□ (冷熱) 断トツの省エネ性能</p> <p>□ (工作機械) 加工技術力・提案力・顧客ニーズ対応力</p>	<p>S 強み</p>	<p>□ (冷熱) 専門メーカーと比べて事業規模が小さい</p> <p>□ (工作機械) 国内ユーザーの海外生産展開に伴う需要減退</p>	<p>W 弱み</p>
<p>□ (冷熱) 世界的な低炭素社会への流れの中でヒートポンプ需要の高まり</p> <p>□ (工作機械) 中国・インド・東南アジア、北米の需要拡大</p>	<p>O 機会</p>	<p>□ (冷熱・工作機械) 新興メーカーの台頭</p> <p>□ (冷熱) 素材、レアアース価格の高騰</p>	<p>T 脅威</p>

主要プロジェクト

発表時期	納入時期	プロジェクト
2013年 4月	—	中国にターボ冷凍機の製造・販売・サービス会社設立の合併契約を締結
2013年 2月	—	欧州の空調機器事業統括会社を英国に設立
2013年 1月	—	カーエアコン事業専門の新会社が営業を開始
2012年12月	—	横中ぐりフライス盤に新シリーズ、2機種を投入
2012年11月	—	松阪工場がGMの優秀自動車部品調達先には選ばれる
2012年 4月	—	切削工具事業強化へ米国フェデラル・ブローチ社を買収
2012年 4月	—	長尺ワークの精密加工ができる門形マシンングセンター「LH250」を開発

コン专业会社を通じた事業展開を開始し、市場環境の変化に即座に対応可能な体制を構築しました。この他にも輸送用冷凍機、大型冷凍機も海外事業の拡大を図ることにより、2014年度の連結受注高2,100億円、連結売上高2,100億円、営業利益90億円の達成を目指します。

工作機械

工作機械と精機品という市場特性の異なる2つの事業を両輪に、グローバル化と高付加価値化を加速させ、事業規模と収益の拡大を図っています。その一環として、2012年4月にブローチの世界有数メーカーである米国フェデラル・ブローチ社を買収し、顧客・技術面でのシナジー創出に取り組んでいます。

今後も市況の変動に強い事業体制の構築を進め、2014年度の連結受注高700億円、連結売上高600億円、営業利益80億円の達成を目指します。

TOPICS

業界トップの省エネ性能を実現した空冷ヒートポンプモジュールチラー「Voxcel」を開発

冷熱事業部門は、業界トップ省エネ性能を達成した空冷ヒートポンプモジュールチラー※「Voxcel(ボクセル)」を開発、2012年12月から販売を開始しました。

Voxcelは、通常の定格運転に対し、最大150%の能力が発揮できます。外気温度がマイナス10℃で屋内との温度差が30℃と大きい時や建物自体が冷えている早朝など、暖房負荷が一時的に高くなる時にも設備を増設せずに対応できます。また、高効率で冷暖房とも省エネ性が高く、ランニングコスト、CO2排出量は当社従来機対比40%削減が可能。熱源システム全体を最適制御し、省エネを図ることができます。

※ チラーとは、ビルや工場など大型施設の空調熱源や各種産業装置等の温度を一定に保つための装置の総称。

メリット

- 冷房・暖房時に抜群の省エネ性能を発揮
- ランニングコスト、CO2排出量を40%削減



▲ 高精度門形マシンングセンター「LH250」

